



2024年1月25日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

南部バリアブントウ省でエコ工業団地促進プロジェクト産業共生セミナーの開催

JICA は、2024年1月23日に、バリアブントウ省工業団地管理委員会（BIZA）と共催で、同省のフーミー3特別工業団地にて、産業共生セミナーを開催しました。

同セミナーは、技術協力プロジェクト「バリアブントウ省環境配慮型及びIT活用型モデル工業団地管理経営能力強化プロジェクト」の活動の一環として実施されたもので、2022年6月に、同プロジェクトに関する討議議事録（Record of Discussions: R/D）の署名に基づき、2023年10月より4年の期間で実施されています。

同プロジェクトは、同省が掲げる2050年を見据えた社会経済開発基本計画（2021-2030年）で明記されている、「環境に配慮した工業団地の設立」の推進に資するもので、具体的には、モデル工業団地を2箇所選定し、適切な環境対策（汚染源削減、循環型生産、脱炭素化）並びに産業共生の活動の実証事業を通じて、2022年5月に改訂された工業団地及び経済区域の管理に係る政令35/2022/ND-CP号（政令35号）に準拠した、エコ工業団地認定制度を含む同省独自のガイドラインを策定化する活動を実施しています。

セミナーでは、モデル工業団地の一つとして選定されたフーミー3特別工業団地並びに入居企業、工業団地インフラサービス会社等が参加し、計画投資省経済区管理局による政令35号に示された手続を具体化する通達案の説明、JICA 専門家チームによる産業共生の事例紹介として北九州エコタウンの経験とその活用、並びに工業団地管理会社と入居企業が連携する実証事業の概要説明を行いました。

BIZA の Le Viet Phuc 副委員長からは、バリアブントウ省は「地方起点経済成長プログラム (PBEG プログラム)」を進めており、今回の JICA プロジェクトを通じて、環境、社会、経済、ガバナンスの基準に従って持続可能な工業団地化を促進し、質の高い FDI（海外直接投資）の増加に繋がる事への期待が示されました。また、入居企業からは再生可能エネルギーの導入促進、廃棄物の減容化・利活用の促進等の関心が示されると共に、プロジェクトの実証事業の参加を通じて、低環境負荷化並びに脱炭素戦略の取組の促進に繋がる事への期待が示されました。

なお、今回のセミナーを皮切りに、BIZA 及び工業団地運営事業者、入居企業と共に、モデル工業団地において、エコ工業団地化ならびエコ企業化を促進する実証事業を進めていき、バリアブントウ省内のエコ工業団地認定に係るテクニカルガイドラインを制定する予定です。

お問い合わせ： JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp